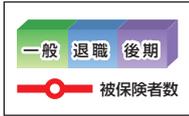
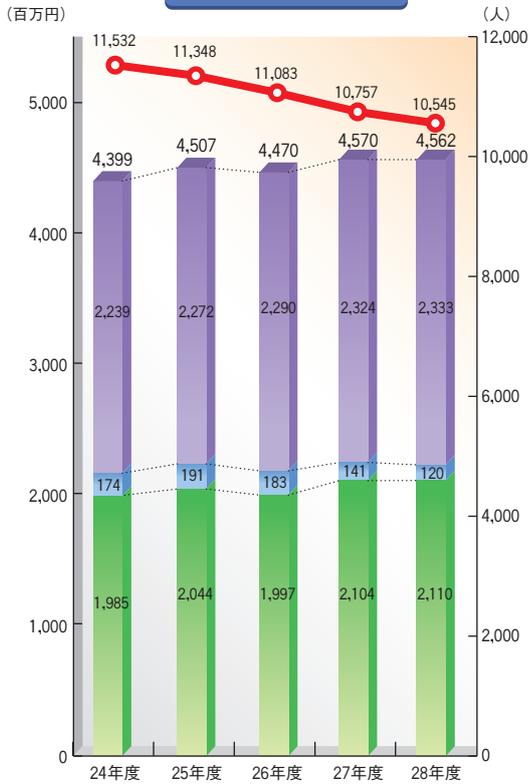


益子町

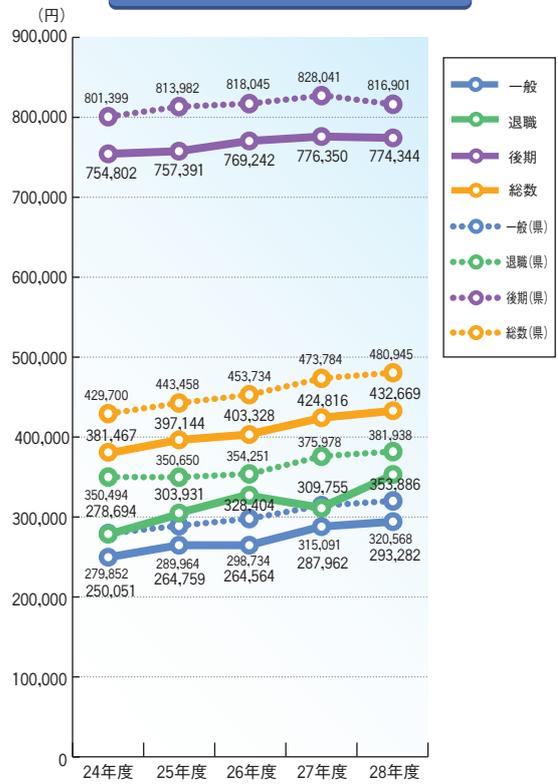
益子町



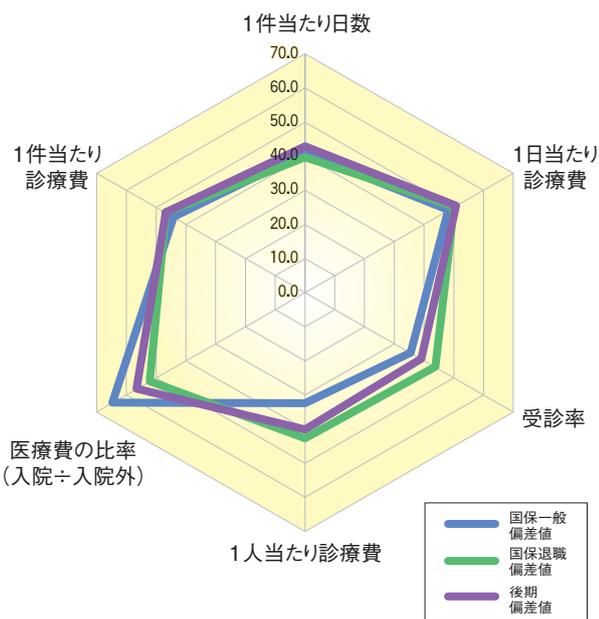
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

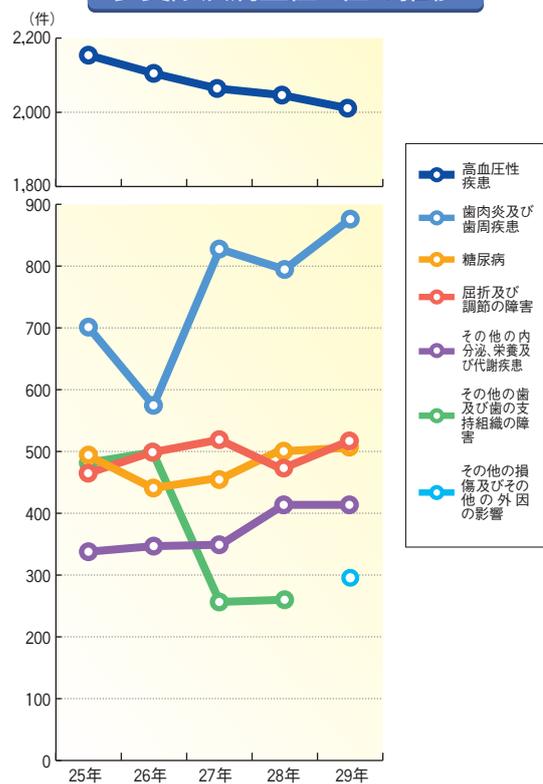


平成28年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

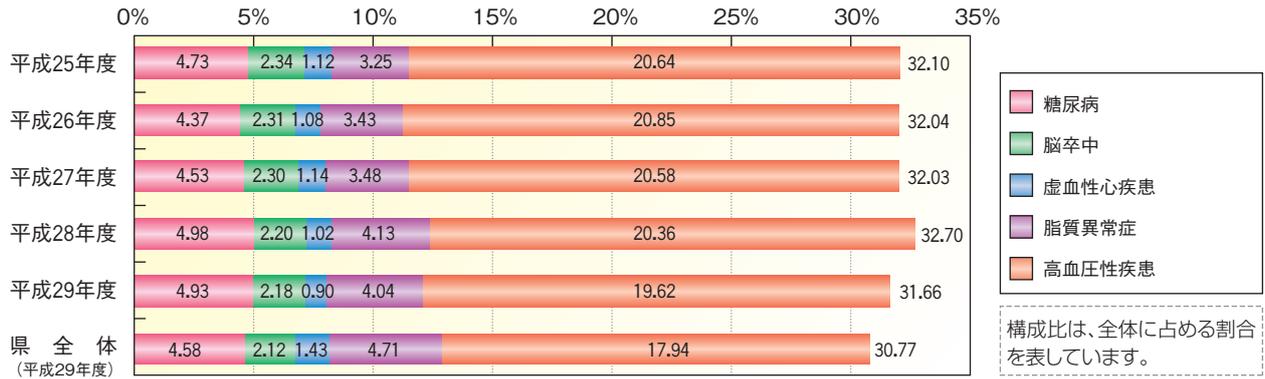


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

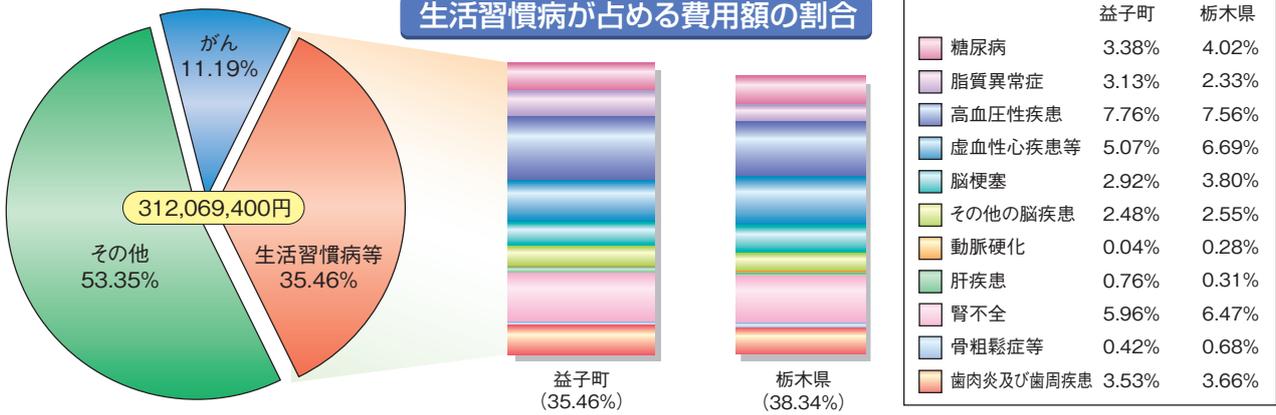
多受診疾病上位6位の推移



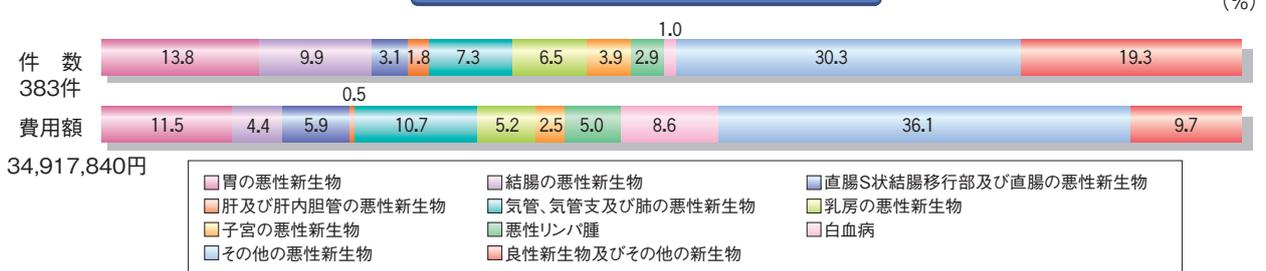
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



益子町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成28年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,109,873千円(100.3%)、退職119,614千円(84.7%)、後期2,332,905千円(100.4%)で、全体では4,562,391千円(99.8%)と減少している。()は前年度との比較。

平成28年度平均被保険者数は10,545人で、内訳は一般7,194人、退職338人、後期3,013人である。前年度比較すると全体で98.0%と減少している。

また、平成28年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は432,669円(7,853円増)、一般は293,282円(5,320円増)、退職は353,886円(44,131円増)、後期は774,344円(2,006円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療費諸費(県平均との比較)をみると、一般は、医療費の比率以外の諸率がいずれも低く、退職は1日当たり診療費、医療費の比率が高い偏差値となっており、後期は、1日当たり診療費、医療費の比率が高い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成29年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位糖尿病、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位その他の損傷及びその他の外因の影響で、中でも5位のその他の内分泌、栄養及び代謝疾患は平成25年と比べ、件数は1.22倍、費用額は2.23倍となっている。

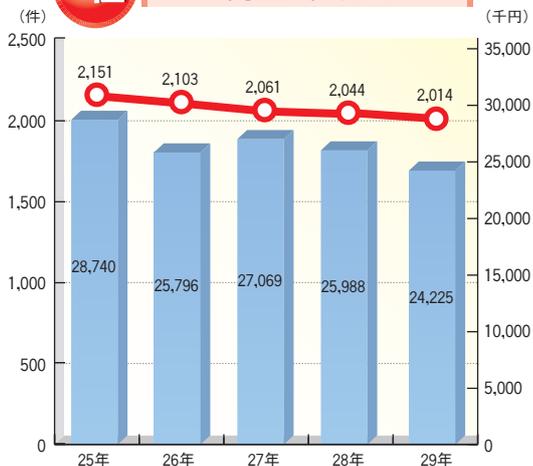
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、その中でも高血圧性疾患の占める割合が高い比率となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成29年5月診療分の総費用額が312,069,400円で、がんが11.19%、生活習慣病等が35.46%を占めている(県全体 がん12.74%、生活習慣病等38.34%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患7.76%、腎不全5.96%、虚血性心疾患等5.07%となっている。

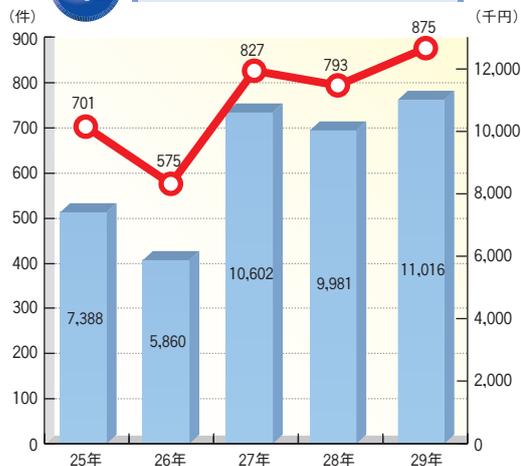
がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、胃の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

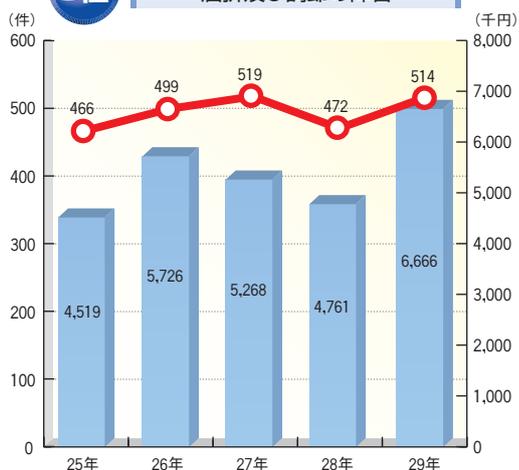
1位 高血圧性疾患



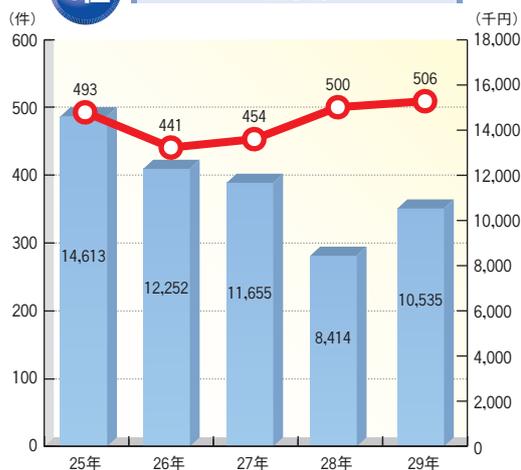
2位 歯肉炎及び歯周疾患



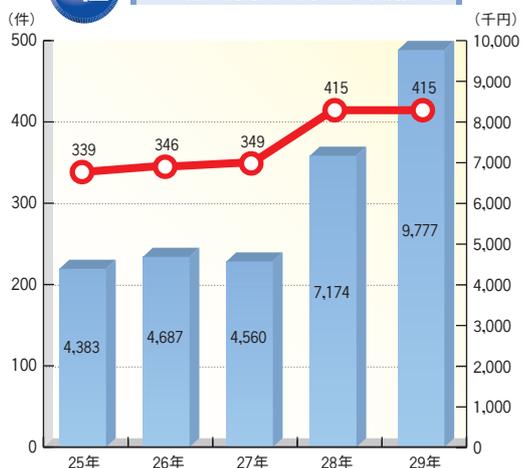
3位 屈折及び調節の障害



4位 糖尿病



5位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



6位 その他の損傷及びその他の外因の影響

